



国際ロータリー2840地区

寄付

県に200万円

新型コロナウイルス感染症への対応で「医療従事者が使う医療資材の確保に役立てて」。森田高史ガバナー(写真左)と新井良和地区幹事(同右)が山本一太知事に目録。

令和2年4月14日付け



フェイスシールド 県医師会に贈る

ロータリー2840地区

前橋

新型コロナウイルス感染症の対応に当たる医療従事者を支援しようとして、県内の45ロータリークラブでつくる国際ロータリー第2840地区(森田高史ガバナー)は24日、県医師会(須藤英仁会長)に医療用フェイスシールド1万2500セットを寄贈した。森田ガバナーらが、前橋市の前橋問屋センター会館を訪れ、須藤会長に目録を手渡した。写真。

フェイスシールドは顔を覆うための透明なポリエステル製シートで、医療従事者の飛沫感染防止の効果が期待されるという。須藤会長は「医療施設での感染が増えている。第一線で働く人たちに手厚い支援ができる」と感謝。森田ガバナーは「医師に感謝する。自身の健康を守りながら地域医療に臨んでほしい」と願った。

令和2年4月27日付け